



一般質問

山崎 公司 議員

質問の
ねらい

当別町 150 年後世に歴史を伝える

150年に向けて、後世に歴史を伝えるために地域の由来・移住時期また輸送手段の3ルートについて記念誌やパネル展で紹介することが必要。現時点での事業計画と併せて質した。公共施設の平成30年度の利

用者数、特に町外の利用者はどのくらいか。65歳以上が無料だが、年齢と町外利用料の見直しをしてはどうか。全国学力・学習状況調査で、生活習慣の改善項目があり改善に向けての取り組みについて質した。

ここを
聞きたい

子ども達の企画案の実現を

問 プレイブントで発表された小中学校生・高校・大学生の企画案を実現するために、どのように対応しているか。現時点での事業の計画・企画、PR策の企画・検討、実現の具体化が必要では。

答 若者の企画したアイデアを是非実現したい。現時点で来年(令和2年)10月に150年記念式典を予定。その他、自衛隊の音楽隊演奏会、スウェーデンマラソンなどを記念事業として考えている。

ここを
聞きたい

記念誌やパネル展の実現を

問 全国各地からの移民により地域の発展に繋がり、その地域の由来と移住時期を記念碑の写真と共に、また輸送手段の3ルートについても記念誌やパネル展で紹介することが必要では。

答 町の歴史を伝えていくことは大切。開拓郷土館あるいは伊達記念館のリニューアルも含め来年(令和2年)行われる150年の関連事業として方向性をしっかり明らかにしていきたいと考えている。

ここを
聞きたい

町民参加で盛り上がり

問 多くの町民参加で盛り上げるために、今年(令和元年)の70回文化祭同様、当別音頭と若い世代の踊り、歌のグループ、姉妹都市の文化を表現したパレードを期待する町民の声が多いが、実現しては。

答 来年(令和2年)150年、例年にも増して盛り上がる文化祭となるよう教育委員会及び主催の文化協会と一緒に協働していきたいと考えている。



江当軌道株式会社当別停車所(当別町史より)

ここを
聞きたい

公共施設利用料の見直しを

問 公共施設(総合体育館・両コミセン他)の平成30年度の利用者数、特に、町外の利用者はどのくらいか。65歳以上が無料だが、年齢と町外者の利用料の見直しをしては。

答 利用者約15万人うち約2割が町外の方と報告を受けた。施設の維持管理費用、利用料の見直しを行う際に発生する諸費用などを考慮しながら各施設ごとに適宜検討していきたいと考えている。

ここを
聞きたい

生活習慣の改善を

問 基本的な生活習慣6項目が小中学校共、全国平均よりかなり劣っており改善が必要。具体的な取り組みをしているか。

答 8月に学校へ調査結果の詳細な分析とそれに基づく改善プランの作成を指導。現在そのプランに基づき取り組んでいる。

【その他の主な質問項目】
全国学力の分析結果を踏まえて今後の更なる学力の底上げと教科の改善策 など

一般質問

佐々木 常子 議員



質問の
ねらい

安心、安全の当別町に！！

本年1年間だけで激甚災害が何
度もあり今まで起こらなかったよ
うな災害が起こるようになってきた。
1人1人が備えていくことが大事で、
当別町としてもできる限りの防災減
災対策をしていくことが大切。ゴミ

問題は重大で、できる限りリサイク
ル、資源化していくことが大事であ
る。近年、死亡原因1位は悪性新生
物（がん）である。早期発見できれ
ば命を救い、治すこともできる。が
ん対策を進めていくべきと考える。

ここを
聞きたい

マイタイムライン全戸配布

問 災害が起こった
時、避難するに
は勇気と決断が
必要。マイタイムライン
を作成し避難訓練をして
いくことが大切。マイタ
イムラインのひな型作り、
全戸配布していくこと
が大切では。

答 研究は既に進め
ている。防災
マップに警戒レ
ベルや気象情報、河川の
危険水域などを示したマ
イタイムラインのひな形
を掲載し、来年（令和2
年）度に作成し全戸配布
する予定。

ここを
聞きたい

ペット同行避難の対策は

問 ペットの同行避
難をするには、
例えばペットを
受け入れる避難所を設け
るなど、何らかの対策を
練っておくことが大事で
あり、またその周知徹底
が大切では。

答 大災害があった
場合に優先さ
れるべきこと
は、まず何よりも人命で
ある。動物の嫌いな方や
アレルギーの方もいるの
で、避難所の規模や構造
を十分考慮し、対応して
いくしかないと考える。

ここを
聞きたい

液体ミルクの備蓄は必要

問 液体ミルク他、
乳幼児用品の備
蓄について株式
会社ラルズとの提携があ
ると言っても時間がかか
る場合も考えられる。町
外からたくさんの方が集
まる道の駅だけでも備蓄
してはどうか。

答 各家庭で確保す
るのが原則では
あるが、次年（令
和2年）度以降、必要最
低限の液体ミルクあるい
は授乳用品の備蓄につい
て検討したい。置くら
まは福祉避難所である
ゆとろと考えている。

ここを
聞きたい

リサイクル事業の拡充を

問 シュレッダーご
みのリサイクル
について、町内
会で対応がさまざま。明
確な対応が必要では。ま
た、枝草花の土へのリサ
イクルは、町民の声も多
い。このようなリサイク
ル事業に対する考えは。

答 シュレッダーご
みも資源回収の
対象であることを
理解いただき集団資源
回収の利用を促進してい
く。また、枝葉や草木の
資源化は費用対効果も含
めてどこまで有効かはこ
れから研究を進めたい。



早期発見のための乳がんグローブ（本人提供）

ここを
聞きたい

乳がんの自己検診普及を

問 乳がんの罹患率
が若い世代を中
心に年々増加。
自己検診の普及啓発、早
期発見のため乳がんグ
ローブを配布しては。

答 がん予防の啓発
物としては非常
に高価なもので
あり、現時点では考
えていないが、自己
検診の必要性は今
後も啓発を行う。

【その他の主な質問項目】

万が一被災した場合の支援の周知、がん検診受診率向上対策は、ゴミステーション購入補助



一般質問

五十嵐 信子 議員

質問の
ねらい

住み慣れた地域で最後まで暮らす

超高齢社会に対応した地域包括、介護が必要になっても支え合い安心して暮らせるためには、きめ細やかな配慮が必要だが相談窓口増設の考えはあるか。また、介護リスクを減らす「フレイル[※]予防」は、町民に

とって大切なことで、どう取り組みをしていくのか。認知症への正しい理解が広がるよう講演会や子どもから大人まで和やかに自然に触れ合える機会を増やし、除雪に関しても更に支え合いができないか質問した。

ここを
聞きたい

最後まで笑顔の安心暮らし

問 これからも増え続けていく高齢者や認知症の方に対して、どのような課題があると分析しているのか。

答 認知症の方の周りの方が、認知症への理解を深め、症状に合ったケアができるようサポートすること。認知症サポーターを養成し、家族のケアを手助けできる体制を整えること。

ここを
聞きたい

地域包括支援センター増設

問 介護が必要になっても安心して住み慣れた地域で暮らせる町づくりを進める上で、大事な拠点となる。西当別地区においても近所で気軽に困りごとや介護相談ができればとの声への考えは。

答 今ある地域包括支援センターは、24時間の電話相談に対応する体制を整えており、必要に応じ訪問支援をする体制ができています。限られた財源の中で現時点では増やす考えはない。

ここを
聞きたい

フレイル予防でいきいきと

問 フレイルとは誰もが加齢とともに起こり得る筋力と活力の衰えを意味する。フレイル予防で介護リスクを減らすことはとても重要だが、町の見解と取り組みは。

答 人生100年時代に合わせて健康寿命をいかに延ばすかの取り組みと認識している。自立支援に向けたケアの啓発やそのような機会をつくっていくということが肝要であると考えている。

ここを
聞きたい

予算を確保し有益な機会を

問 認知症サポーターの会員数も増え活躍の場を増やす努力もしているが、これまで以上に本人、家族、周囲の方々へ正しい理解の輪が広がるよう講演会や和やかに触れ合う機会を増やすべきでは。

答 認知症ケアパスの全世帯配布、認知症サポーター養成講座の拡充、早期発見のための模擬訓練、町民向けのセミナーなど認知症対策では先進的に実施してきていると認識している。

ここを
聞きたい

支え合いの除雪対策

問 毎年、家の前の置き雪に悩まされているとの声が多い。町内会へ助成し、支え合いの仕組みの事例を参考にモデルを作るべきではないか。

答 社会福祉協議会の事業として、既に町内会と組んで高齢者世帯向けの除雪について支え合い、助け合い活動を行っている。



当別町社会福祉協議会が実施する地域支え合い助成事業を活用した町内会の除雪

※フレイル(虚弱)…年をとることに伴い心や身体の活力が衰え、そのままにしておくと寝たきりなどを招くおそれがある状態。

一般質問

鈴木 岩夫 議員



次のページは

議案審議の結果 定例会では討論・採決が行われました。

質問の
ねらい

急いで人口減少対策を

これ以上の人口減少にストップをかけるために、「子育て世帯の移住促進のために住宅取得に対する支援を」「乳幼児医療の『通院費』助成の拡大を」。そして、これ以上転出者を出さないために、「高齢者、障

がい者が安心して住み続けられるバリアフリー化の推進を」急いで実施すべきと質した。また、これ以上農家戸数を減らさないために、負債農家に対する支援も質した。

ここを
聞きたい

住宅取得に対する支援を

問

乳幼児医療の「通院費」助成の拡大とは別に、江別市や北広島市に学んで「子育て世帯の移住促進のため」に住宅取得に対する支援を実施すべきではないか。

答

住む場所、家を建てる場所の確保に目途がついたときに合わせて支援を実施することが最も効果的であると考えており、研究を進めているが、最終的な支援制度は、まだ固まっていない。

ここを
聞きたい

実施するということか

問

住環境整備と乳幼児医療の助成拡大、併せて子育て世帯の移住促進のために住宅取得に対する支援を実施する方向なのか。

答

住宅ができ、子育て世代が増えれば、間違いなく経済効果が出てくる。住環境の整備、子育て世代の増、乳幼児の増などの目途がついた段階に応じて全部制度化し、やる方向で考えている。

ここを
聞きたい

バリアフリー化を急いで

問

これ以上転出者を増やさないために、高齢者、障がい者が安心して住み続けられるバリアフリー化の推進を急いで実施すべきではないか。

答

太美駅前のロードヒーティング化は、高齢者や障がい者の方が安心して歩くために、また、人口増の方策として必要。現在進めている住環境整備の進捗しんちよくに合わせて1つつ進めていきたい。



石狩太美駅前

ここを
聞きたい

負債農家に対する支援を

問

「負債整理資金」を借りる農家が増えていていると聞く。これ以上農家戸数を減らさないために、負債農家に対する支援「負債整理資金の利子補給」を実施すべきではないか。

答

利子補給という個人々人への支援ではなく、農地集積、担い手対策、スマート農業推進等の農業全体のレベルアップが当別の農業を強くすることであり、町がやらなければならないことと考える。

ここを
聞きたい

急いで中央排水の整備を

問

中央排水は、過去かみには改修が行われているが、下しもはいまだ行われていない。急いで整備すべきではないか。

答

国や北海道と連携して対応するが、現状の中央排水については、その都度の維持補修等で問題ないものと考えている。

【その他の主な質問項目】
教職員の変形労働時間制、150年

一体型小中一貫教育、当別